

『 PURE OSAMU 』 主な特長

成分:安定型次亜塩素酸ナトリウム、純水

性質:弱アルカリ性

- 瞬間強力除菌
- 瞬間消臭
- 無揮発
- 塩素ガス発生なし
- 金属非腐食
- 無漂白
- 非可燃
- 無臭
- 無刺激
- 弱アルカリ性
- 長期品質安定性

主な既存製品との比較

種類	除菌時間	除菌能力	消臭能力	非腐食	非漂白	非可燃性	有毒ガス非発生	無刺激	無揮発	環境安全	保存性
アルコール製品	○	△	△	◎	◎	×	○	×	×	×	○
二酸化塩素製品	○	○	△	×	×	◎	×	△	×	×	×
次亜塩素酸製品	◎	◎	○	△	×	◎	×	△	×	△	×
当製品	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

【ウイルスに対する不活化効果実験】

(財) 畜産生物科学安全研究所

感作時間(分) ウイルスの単位 PPU/ml		0分	1分	3分	
インフルエンザウイルス	対照群	平均値	5.83×10^4	1.05×10^5	9.00×10^4
		対数変換値	4.77	5.02	4.95
	試験液	平均値	$< 10^2$	$< 10^2$	$< 10^2$
		対数変換値	< 2.00	< 2.00	< 2.00
		LRV	< 2.8	< 3.0	< 3.0
%表示	99.72%	99.90%	99.90%		
コロナウイルス	対照群	平均値	5.4	5.3	5.5
		平均値	≤ 1.50	≤ 1.50	≤ 1.50
	試験液	LRV	≤ 3.9	≤ 3.8	≤ 4.0
		%表示	99.981%	99.972%	99.990%
バルボウイルス	対照群	平均値	5.7	5.8	5.7
		平均値	3.4	≤ 1.50	≤ 1.50
	試験液	LRV	2.3	≤ 4.3	≤ 4.2
		%表示	99.270%	99.9927%	99.9918%

(財) 畜産生物科学安全研究所
 動物用医薬品、人体用医薬品、飼料、飼料添加物、農薬、化学物質、畜水産物等の各種試験、検査、研究開発を行なうことにより、学術の発展、畜産業の振興、食品衛生及び公衆衛生の向上を寄与することを目的とする農林水産省および厚生労働省共管の公益法人です。また、食品衛生法の規定に基づく厚生大臣指定検査機関としての指定や、薬事法の規定に基づく薬事に関する試験検査を行なう厚生大臣指定試験検査機関としての指定を受けている機関です。

※ウイルスの含有量は試料1mlあたりの値を記載しています。

※試薬の有効塩素濃度：80ppm

【細菌に対する抗菌力実験】

感染源 ※症状など	食材、水、土壌、感染者排泄物（トイレ）など ※強毒性。特に高齢者、妊婦、乳児などを中心に重症化				人（皮膚表面、毛穴院内感染） ※易感染者の皮膚、粘膜、肺などへの化膿			
試験菌	O-157	サルモレラ	リステリア	陽炎ビブリオ	表皮ブドウ球菌	黄色ドウ球菌	MRSA	
生菌数 (/ml)	開始時	1.3×10^5	6.8×10^5	6.5×10^5	4.6×10^5	7.3×10^5	3.2×10^5	1.4×10^5
	15秒後	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10
	30秒後	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10
	1分後	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10	< 10

感染源 ※症状など	人、排泄物（トイレ）、水回り ※易感染者の血流感染、肺炎	空調・加湿器 ※肺炎、高熱	人（鼻腔、咽頭など） ※肺炎、中耳炎、髄膜炎など		
試験菌	VRE	緑膿菌	レジオネラ	レンサ菌	
生菌数 (/ml)	開始時	1.1×10^5	1.0×10^5	2.7×10^7	6.7×10^5
	15秒後	< 10	< 10	5.0×10^5	< 10
	30秒後	< 10	< 10	1.6×10^3	< 10
	1分後	< 10	< 10	< 100	< 10

※細菌の含有量は資料1mlあたりの値を記載しています。

※ < 10 ：検出されず

※試薬の有効塩素濃度：100ppm

※感染源が「人」の場合、菌保有者の接触部分が媒体対象に成り得ます。

【各種機関による不活化効果および安全性試験結果】

試験種別	試験内容（対象）	結果	実施機関
不活化効果試験 (5分後)	ノロウイルス	< 10 ：検出せず	ビジョンバイオ(株)
	大腸菌・緑膿菌・MRSA・サルモレラ 黄色ブドウ球菌・腸炎ビブリオ	< 10 ：検出せず	(社) 京都微生物研究所

瞬間除菌能力が大切な理由

よく数十秒後、数分後に99.9%以上の除菌ということを使われることがありますが、それはシャーレなど器の中に菌を入れて行う試験であり、あくまで菌がその器の中でしか動かない環境での結果です。実際の環境は、空間いっぱい浮遊し増殖をする為に、時間のかかる試験結果は除菌能力においての良さをアピールしても現実的ではありません。だからこそ接触と同時に瞬間で99.9%以上の除菌効果を持っていることが大切になります。